

2009年12月16日

報道資料

地デジの多チャンネル録画をグループ機能で実現・最大12チャンネルまで地デジを同時録画

地デジの全チャンネル録画が可能なGシリーズ登場！！

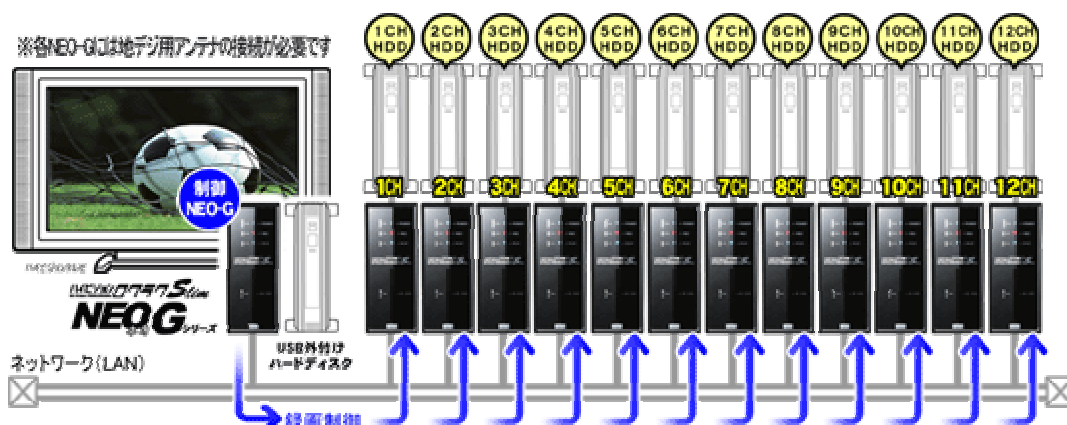
ハイビジョン録画できる地上デジタルチューナーに新たにGシリーズ登場！！

ハイビジョンロクラクSlim・NEO-G発表

○ 新登場！！ハイビジョンロクラク(録楽) Slim(スリム) NEO-G(ネोजー)： ¥33,000(税別)

株式会社日本デジタル家電は、今年10月に発表した最大13台のハードディスクを同時に接続して地デジ・ハイビジョンを録画できる「ハイビジョンロクラクSlim・NEO」の上位機種として、業界初の「グループ機能」を搭載し、家庭内LANで複数台が連動することで地デジ・ハイビジョンの全チャンネル録画を実現可能にした、「ハイビジョンロクラクSlim・NEO-G」(読み：ハイビジョン・ロクラク・スリム・ネオ・ジー・シリーズ)を新たに発表します。

NEO・Gシリーズは、NEOの全機能をそのまま継承して単体として地上波デジタルチューナー／レコーダとして動作するだけではなく、LANにより複数のNEO・Gが協調連動して、1台のNEO・Gから他の空いているNEO・Gにリモートで録画予約を指令でき、別々の部屋にあるNEO・Gが協調動作して多チャンネル同時録画を手軽に簡単に実現します。最大で12チャンネルまでの連動が可能で(地デジチューナーの最大チャンネル割当数が12のため)地デジ・ハイビジョン放送の全チャンネル同時録画が可能となります。しかも全てのNEO・Gが平等にLAN上の空いている他のNEO・Gを協調利用できるのが特徴です。(グループ機能【1】協調同時録画機能)



さらに、NEO・Gでは、地デジ録画機としては初めてディスクの共有ができるようになりました。(※注1)つまり別の部屋のNEO・Gで録画したハードディスクでも手元のNEO・Gに繋いで直接再生ができるようになりました。(※注1)(グループ機能【2】ディスク共有機能)そして、新たな便利機能として、ダビング10を使ってディスクを丸ごと自動的にコピーしてくれる新機能も加わりました。地デジの録画データはデータ量が多く1つ1つのコピーで長時間待たされるのは実用上たいへん不便です。しかしこのミラーディスク機能なら電源オフのスタンバイ時に空いている時間を利用してマスターディスクとまったく同じミラーディスクをNEO・Gがこつこつと自動的にバックアップしてくれるためストレスのない本体機能の利用と意識しないバックアップが容易に可能です。(グループ機能【3】ミラーディスク機能)

NEO・Gは、LANにより複数台のNEO・Gが協調する多チャンネル同時録画や録画ディスクの排他的共有、さらにはディスク丸ごとの自動バックアップ機能など3つの革新的な機能を搭載し、新しい地デジ録画機器のファミリーユースを可能にしながら¥34,650(税込)という低価格を実現しました！！また、既存のNEOからは差額¥5,000(税別)でGシリーズ機能への移行も可能です。(期間限定)

本製品(グループ機能レベルA)は、まずネット(<http://www.rokuraku.com>)限定でのプレミア販売を12月24日から開始し、さらに上位機能のグループ機能レベルBを来年2月、グループ機能レベルCを3月に発表し、4月より一般販売を予定しています。尚初回のネットプレミア販売での購入者にはプレミア特典として後から発売されるレベルB及びレベルCのグループ機能ファームを無料で提供する予定です。

仕様及び形状は予告なく変更される場合があります。

○ ハイビジョンロクラク Slim(スリム) NEO-G の主な機能 (2009.12.15 現在のものです)

製品仕様

型 名	ハイビジョン ロクラク Slim(スリム)・NEO(ネオ) -G (ジーシリーズ)	
チューナー	受信方式	地上デジタル放送 ^{※1}
	アンテナ入力	F型コネクタ(入力インピーダンス75Ω)
AV出力端子	映像信号	NTSC
	コンボジット映像・音声出力	各1系統 S-ビデオ、ビデオRCA、 ^{※2} オーディオ(L,R) RCA
	D端子映像出力	1系統 ^{※3}
	HDMI(デジタル映像・音声出力)	1系統/HDMI 1.3
外部入出力端子	USBデバイス端子(Bレセプタ)	1系統/USB2.0 *USBデバイスとホスト機能は同時にご利用になれません。
	USBホスト端子(Aレセプタ)	1系統/USB2.0 *USBデバイスとホスト機能は同時にご利用になれません。
	LANインターフェース	10BASE-T/100BASE-TX対応
番組視聴	視聴可能番組	1系統/RJ-45型8極コネクタ
	電子番組表(EPG)	テレビジョン放送及びEPG(電子番組表)、字幕放送 ^{※4}
	番組情報	現在番組表・週間番組表
	録画媒体	番組解説の表示
ハードディスク録画	ハードディスク容量	USB2.0外付けハードディスクドライブ ^{※5} 最大13台同時接続可能
	録画可能タイトル数	最大利用容量 2TB/ハードディスク1台当たり (利用可能最大容量は機種によって異なります)
	録画時間	200/ハードディスク1台当たり
	番組録画予約	ハードディスク容量に依存
操作方式	リモコン制御	電子番組表(EPG)による録画予約
電源	AC100V~240V 50/60Hz	リモコン付属
環境条件	保管時温度(結露なきこと)	ACアダプター付属(本体DC5V)
	保管時相対湿度(結露なきこと)	-20℃~50℃
	使用時温度(結露なきこと)	20%~80%
	使用時相対湿度(結露なきこと)	5℃~35℃
その他	ボディカラー	20%~80%
	消費電力	黒
	大きさ(幅X高さX奥行き)	8W
	重量(本体)	(約) 52X134X194 mm
		(約) 800 g

注意事項

※1 地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG(電子番組表)、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATV/バスルー・双方向サービスには対応していません。又、BS/110度CSデジタル放送には対応していません。※2 デジタル放送を480iに変換したアナログ信号が出力されます。※3 D端子ケーブルで接続する場合には、D3以上の入力端子を持つテレビに接続してください。※4 USB2.0外付けハードディスクドライブは、別途ご用意下さい。市販の全てのUSBメディアで動作を保障するものではありません。※本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。※既存のアンテナ設備ではデジタル放送を受信できない場合があります。デジタル放送に対応したアンテナを接続してください。※電波の受信状態が不安定な場合、映像が途切れたりブロックノイズが現れることがあります。※アンテナの受信感度が低い場合はアンテナを調整していただくか、あるいはデジタル放送対応のブースターで電波を増幅してください。※放送波のエリア内であっても、建物や地形により電波が遮られる場合や電波の受信状況によっては視聴できない場合もあります。



※UHF帯以外(VHF帯(1~12ch)、MID/SHB帯(C13~C63ch))は、受信することが出来ません。

※USBのバスパワー供給電流は規格により500mAとなっています。それ以上の電流を消費するハードディスクは、正常に動作しないことがありますのでご注意ください。

(※注1) ディスク共有には録画した機器がLANに接続されている必要があり再生は排他制御で同時には1台のみです。

株式会社 日本デジタル家電

本社事務所：〒430-7725 静岡県浜松市中区板屋町 111-2 (浜松アクトタワー25F)

URL: <http://www.rokuraku.com>

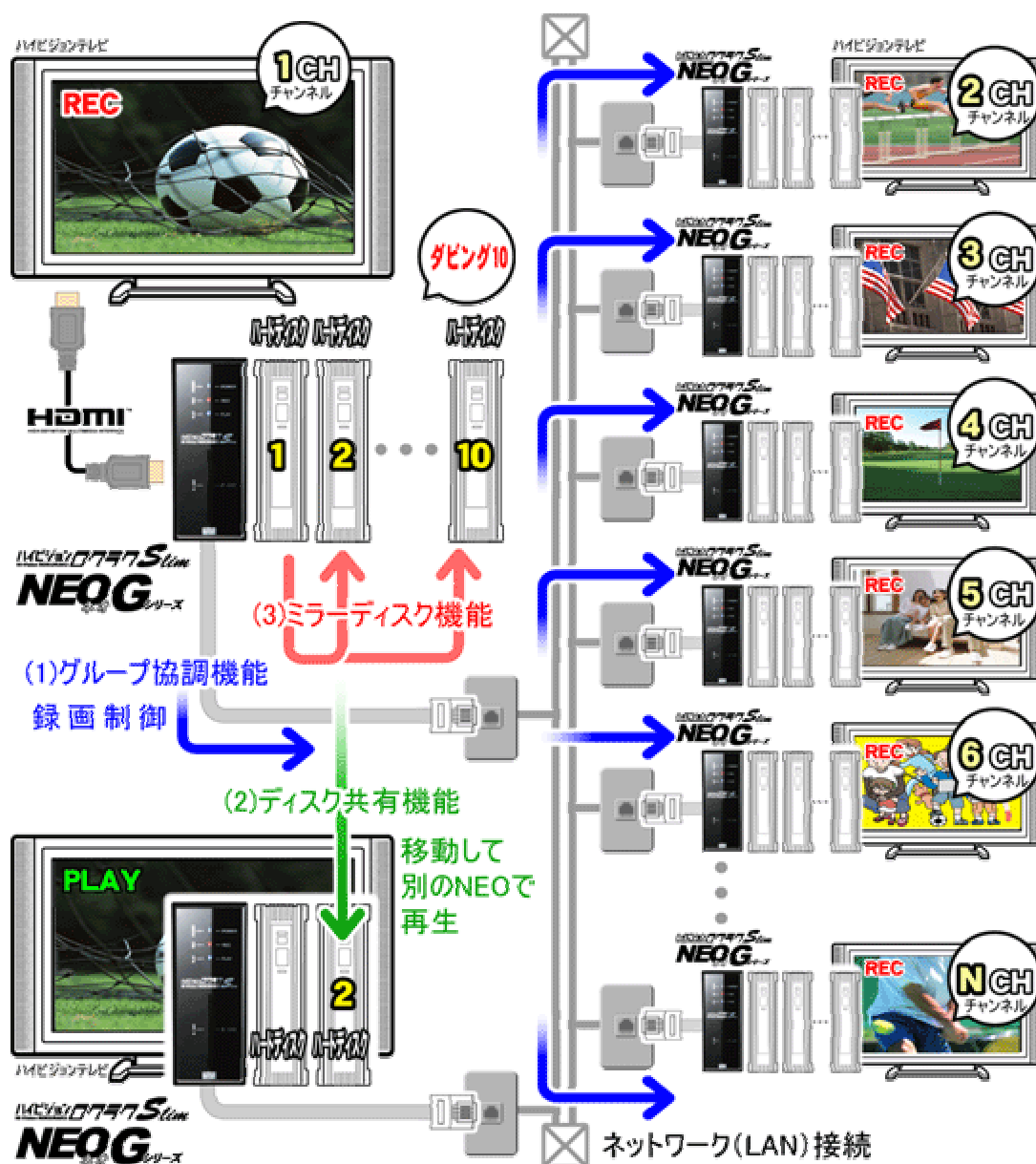
担当者: 広報/営業 中村、佐藤(アシスタント)

TEL(代表): 053-454-1374 TEL(直通): 053-454-1381

E-mail: info2@rokuraku.com

仕様及び形状は予告なく変更される場合があります。

ハイビジョンロクラクSlim・NEO-Gシリーズのグループ機能解説図



グループ機能（１）協調同時録画機能

１台１台独立して利用できるだけでなく、家庭内LAN接続で複数台のNEO・Gが連動します。

１台のNEO・Gから他の空いているNEO・Gに録画予約を指令、別々の部屋にあるNEO・Gが協調動作して多チャンネル同時録画。最大１２チャンネルまで可能なため地デジハイビジョンの全チャンネル録画が実現可能になりました。

グループ機能（２）ディスク共有機能

別のNEO・Gに指示して録画した番組をディスクごと移動させ手元のNEO・Gで再生が可能です。

グループ機能（３）ミラーディスク機能

ダビング１０を使ってディスクを丸ごと自動的にコピーしてくれます。

ミラー機能なら電源オフのスタンバイ時に空いている時間を活用してマスターディスクとまったく同じミラーディスクをNEO・Gがこつこつと差分をとり自動的にバックアップします。

<補足>

グループ機能・レベルA 家庭内非同期型協調機能（追記型ミラー機能・１対１型）

グループ機能・レベルB 家庭内同期型協調機能の追加（同期型ミラー機能の追加・１対多型）

グループ機能・レベルC グローバル協調機能の追加（多対１ミラー機能の追加）

仕様及び形状は予告なく変更される場合があります。